



本冊子は、岩手県住田町における間伐プロジェクトによって創出されたJ-クレジットを活用し、ライフサイクル全体から排出されるCO₂をオフセットしました。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C014687

各種手続きやお問い合わせは
大同生命コールセンターでお受けいたします。

大同生命コールセンター

0120-789-501 (通話料無料)

受付時間 9:00~18:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

※プライバシー保護のため、お問い合わせは**契約者ご本人**または
ご家族登録制度のご登録者よりお願いいたします。

契約内容のご照会・見直し	資金のご用立て・お引出し
各種変更	保険金・給付金のご請求



ディスクロージャー資料
「2024 大同生命の現状」

DAIDO 大同生命保険株式会社

本社(大阪): 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-2-1
TEL. 06-6447-6111(代表)
(東京): 〒103-6031 東京都中央区日本橋2-7-1
TEL. 03-3272-6777(代表)
HP: <https://www.daido-life.co.jp/>

帳票番号20157(2024-07)

その安心で、 企業とともに未来をつくる。

大同生命のご案内 2024



DAIDO 大同生命

「サステナブルな社会の実現」を目指して

代表取締役社長

北原 睦朗



平素より大同生命をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

この度の令和6年能登半島地震により被災されたみなさまに、謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げます。

さて、2023年度を振り返りますと、幅広い保障ニーズに対して着実な営業活動を行ったことや、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの5類移行などを背景にした景気回復基調も後押しとなり、新契約高^{※1}は4兆7,898億円、保有契約高^{※1}は46兆6,376億円となりました。

当社は、1970年代から約半世紀にわたり、中小企業をお守りするという理念を提携団体のみなさまと共有し、低廉な保険料でより大きな保障が確保できる定期保険を、提携団体の制度商品としてお届けしてまいりました。

近年では、医療技術の進歩等による経営者の現役期間の長期化、相続・事業承継への対応、健康経営^{※2}やSDGsをはじめとする社会的課題への関心の高まりなど、中小企業を取り巻く環境変化やニーズの多様化が進んでいます。このような環境変化のなか、当社では、中小企業をお守りするための「保障提供の進化」と、中小企業が抱える様々な課題の解決支援「課題解決への伴走」に取り組んでおります。

「保障提供の進化」では、法人・個人を一体としたトータルな保障、予防と保障の一体提供や保険加入時の負担軽減等に取り組んでまいります。この一環として、2022年1月に「予期せぬリタイアへのそなえ」と「健康経営の推進」の機能を一体化した健康増進型保険「会社みんなでKENCO+」^{※3}を、2023年6月に医療環境の変化や最新の給付内容に対応した一時離職時のリスク対策として「一時金型Mタイプ」^{※4}を、2023年12月により低廉な保険料で多くの経営者に保障をご提供するべく「健康エール割」^{※5}を発売し、ご好評をいただいております。

「課題解決への伴走」では、SDGs等の社会的課題の解決支援に取り組むことで、当社の提供価値を進化・拡大させてまいります。この一環として、2022年3月に提供を開始した中小企業経営者にフォーカスしたWebコミュニティ「どうだい?」は、6万名（2024年6月末時点）を超えるお客さまにご加入いただいております。そして、2024年1月には、人手不足解消の支援である「人材採用・育成支援サービス」の提供を開始しました。

また、当社自らが社会的責任を果たしつつ、中小企業とともに社会的課題の解決に取り組んでいくことを明確化するために、2023年3月に「サステナビリティ推進計画」を策定するとともに、中小企業によるサステナビリティ経営の実践を後押ししていくために、2024年2月に「サステナビリティ経営実践ガイド」を発行しました。

1902年に創業した当社は、創業者の一人である明治の女性実業家「広岡浅子」の精神を受け継ぎ、「中小企業市場への特化戦略」や「国内生保で初の株式会社化」など、時代の変化にあわせ前例のないことにも果敢に挑戦してまいりました。

これからも、この「挑戦のDNA」、そして「加入者本位・堅実経営」という創業時からの社是をしっかりと継承し、「想う心とつながる力で中小企業とともに未来を創る」というミッションのもと、「サステナブルな社会の実現」に貢献すべく、役職員一丸となって一層努力してまいります。

今後とも、何とぞご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

※1新契約高、保有契約高は、個人保険・個人年金保険の合計額に「Jタイプ（無配当重大疾病保障保険）」等の重大疾病保険金額、「Tタイプ（無配当就業障がい保障保険）」等の就業障がい保険金額、「介護リリーフα（無配当終身介護保障保険）」等の介護保険金額および「一時金型Mタイプ（無配当入院一時金保険）」を加算した金額です。

※2「健康経営」[※]とは、企業が従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に従業員の健康管理・健康づくりを実践することです。「健康経営」は特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です。

※3正式名称は「無配当満期重度就業不能保障定期保険（無解約払戻金型）」と「無配当歳満期重度就業不能保障定期保険（解約払戻金抑制割合指定型）」です。

※4正式名称は「無配当入院一時金保険」です。

※5健康エール割（優良体割引特約）は、「Rタイプ（無配当満期定期保険（無解約払戻金型）」）と「Dタイプ（無配当通減定期保険）」に付加可能な特約です。

会社概要（2024年7月1日現在）

創業

1902年7月（設立1947年7月）

本社

■大阪：〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-2-1
電話 06-6447-6111（代表）
■東京：〒103-6031 東京都中央区日本橋2-7-1
電話 03-3272-6777（代表）

代表取締役社長

北原 睦朗

従業員数

■営業職員：3,628名[※] ■内務職員：3,202名[※]

営業網

■支社：111支社 ■代理店：15,679店[※]

株主

株式会社T&Dホールディングス（100%）

※2024年3月31日現在

中小企業に信頼されるパートナーを目指して

企業理念

当社は、経営の基本となる精神・方針である「社是」と、企業行動の優先順位を決定付ける価値観・行動基準である「バリュー」を礎に、中長期的に目指すべき姿である「ビジョン」を実現することで、当社の役割・存在意義である「ミッション」を果たしていきます。

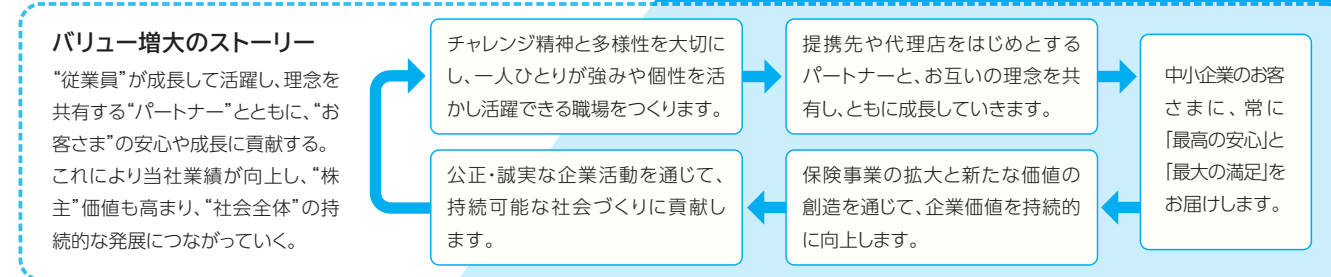
想う心とつながる力で 中小企業とともに 未来を創る

※2022年3月より放映を開始したテレビCMでは、本ミッションと連動した新たなコーポレートメッセージ「その安心で、企業とともに未来をつくる。」を展開しています。

期待を超える価値をお届けする“中小企業に信頼されるパートナー”

- 中小企業で働くすべての方に充実した保障とサービスを提供する企業
- 中小企業の経営課題の解決を支援する企業
- 人とデジタルの力で、“いつでもどこでも”お客さまに感動をお届けする企業

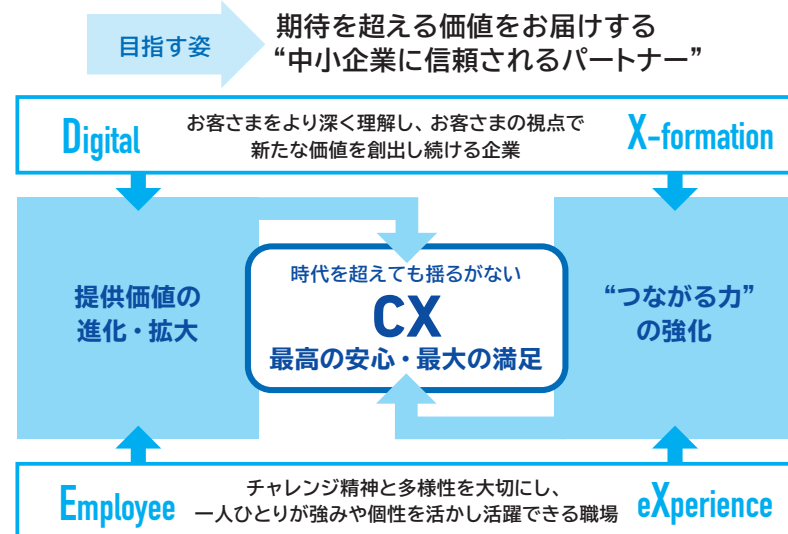
私たちは、次の5つのことを大切に、実践していくことで、“サステナブルな社会の実現”に貢献していきます



加入者本位・堅実経営

中期経営計画 ～“中小企業に信頼されるパートナー”となるために～

ビジョンである「期待を超える価値をお届けする“中小企業に信頼されるパートナー”」は、ミッションを果たしていく道程における、2025年に目指す到達点です。この到達までの道筋を明確化した中期経営計画では、SDGsへの対応や健康経営のサポートなど「保険にとどまらない価値」をお客さまの期待を超えて提供していくことで、中小企業にとって「常に親身に寄り添い、何かあったときには真っ先に相談したいと思える存在＝中小企業に信頼されるパートナー」となることを目指します。



大同生命のあゆみ

1902年(明治35年)

7月 朝日生命(現在の朝日生命とは別会社)、護国生命、北海生命の3社が合併、大同生命保険株式会社を創業。



3社の合併契約書

1947年(昭和22年)

7月 大同生命保険相互会社として再発足。

1970年(昭和45年)

6月 中国税理士協同組合における総合事業保障プランの取扱いを開始。以降、各地の税理士協同組合で同プランの取扱いを開始。

1971年(昭和46年)

4月 AIU(現 AIG損害保険)と業務提携。

6月 法人会の「経営者大型総合保障制度」の取扱いを開始。*

11月 納税協会の「経営者大型総合保障制度」の取扱いを開始。*

※業界初の生損保セット商品で、業界初の「最高保障額1億円」を実現。



法人会・納税協会経営者大型総合保障制度発足当時のパンフレット

1974年(昭和49年)

7月 TKC全国会と業務提携。



TKC企業防衛制度発足当時のパンフレット

1976年(昭和51年)

3月 「TKC企業防衛制度」の取扱いを開始。

2002年(平成14年)

4月 相互会社から株式会社に組織変更。東京証券取引所市場第一部および大阪証券取引所(当時)市場第一部に上場。



東京証券取引所への上場初日

2004年(平成16年)

4月 T&Dホールディングスを設立し、大同生命、太陽生命およびT&Dフィナンシャル生命を子会社とする経営統合を実施。



T&Dホールディングス設立記念式典テープカット

2011年(平成23年)

4月 AIU(現 AIG損害保険)の代理店業務を開始。

2013年(平成25年)

9月 アメリカンファミリー生命保険会社(現 アフラック生命保険)と業務提携。(同年12月より、法人会の会員向けに同社のがん保険の販売を開始)

12月 ドイツの上場保険グループ「ニュルンベルガー社」へ出資するとともに、同社と協働協定を締結。

2016年(平成28年)

9月 人々の健康で豊かな社会づくりへの貢献を目的に、CYBERDYNEと業務提携。

2018年(平成30年)

10月 相続・事業承継分野および中小企業の経営課題解決支援において、リそなグループ*と協働を開始。

※2018年10月リそな銀行、2020年3月埼玉りそな銀行、関西みらい銀行、みなと銀行と業務提携。

2022年(令和4年)

2月 東京大学医学部附属病院とともに、中小企業における「がんに対する意識とがん患者の就労状況」に関する共同研究を開始。

2024年(令和6年)

4月 ジャパンバレーボールリーグ「SV.LEAGUE」のタイトルパートナーに就任。

広岡浅子の想い

大同生命の礎を築いた大坂の豪商・加島屋は、明治維新の動乱により家勢が大きく傾きます。その危機を救ったのが、17歳(数え年)で加島屋当主の次男・広岡信五郎に嫁いだ広岡浅子でした。浅子は、近代日本における女性実業家のさきがけとして、炭鉱・保険事業に参入するなど、加島屋を近代的な企業グループへと変える中心的な役割を果たすと同時に、日本女子大学校(現在の日本女子大学)の設立にも尽力しました。

1902年(明治35年)、当時朝日生命(現在の朝日生命とは別会社)を経営していた加島屋が主体となって、護国生命・北海生命との三社合併により大同生命が誕生します。生命保険事業への参入は、浅子の英断によるところが大きかったと伝えられています。浅子をはじめとする加島屋の経営陣が生命保険事業に託した「社会の救済」と「人々の生活の安定」という想いは、いまでも大同生命にしっかりと受け継がれています。



大同生命のビジネスモデル

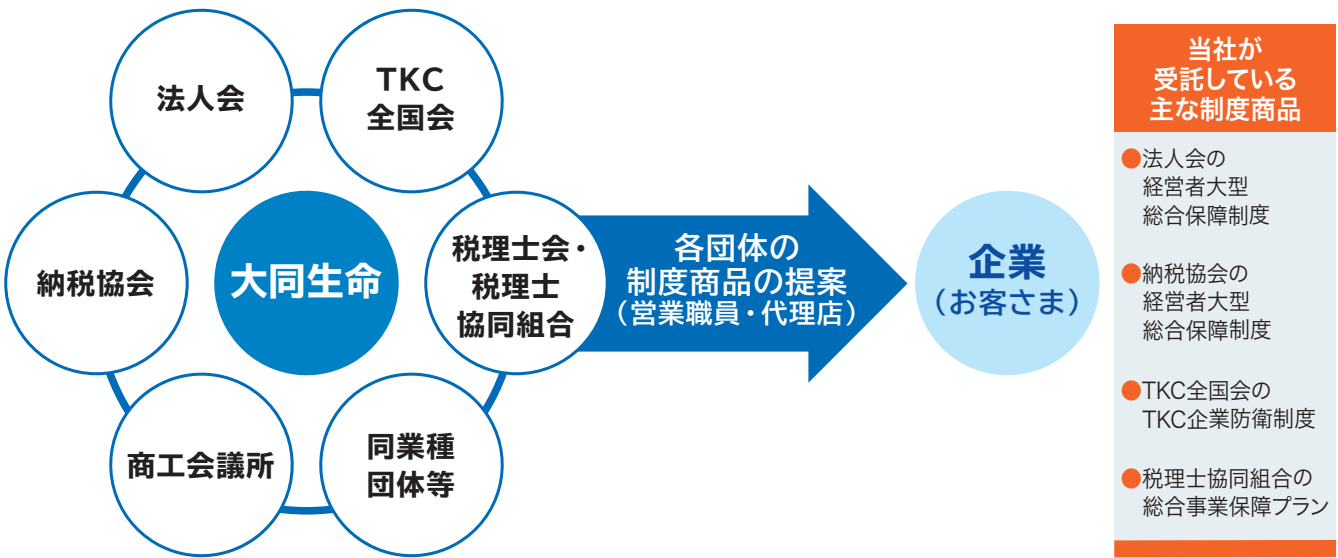
中小企業とともに歩んで半世紀

当社は、他社に先駆けて中小企業市場に特化した独自のビジネスモデルを構築し、「経営者保険のパイオニア」としての大きな一歩を踏み出しました。これからも、中小企業で働くすべての方に充実した保障とサービスをご提供することで、期待を超える価値をお届けする“中小企業に信頼されるパートナー”を目指します。



中小企業市場に特化した独自のビジネスモデル

当社は、中小企業関連団体や税理士団体と提携し、それぞれの団体の特性に応じて設計した保険商品（制度商品）を提供することで、中小企業のお客さまに対して、充実した保障をお届けできる販売体制を構築しています。



当社では、中小企業のお客さまの多様なニーズにお応えするため、保障の提供に加えて、「経営支援」「健康支援」等の観点から幅広いサービスを提供しています。（P10～13参照）

経営者が保険に加入する必要性

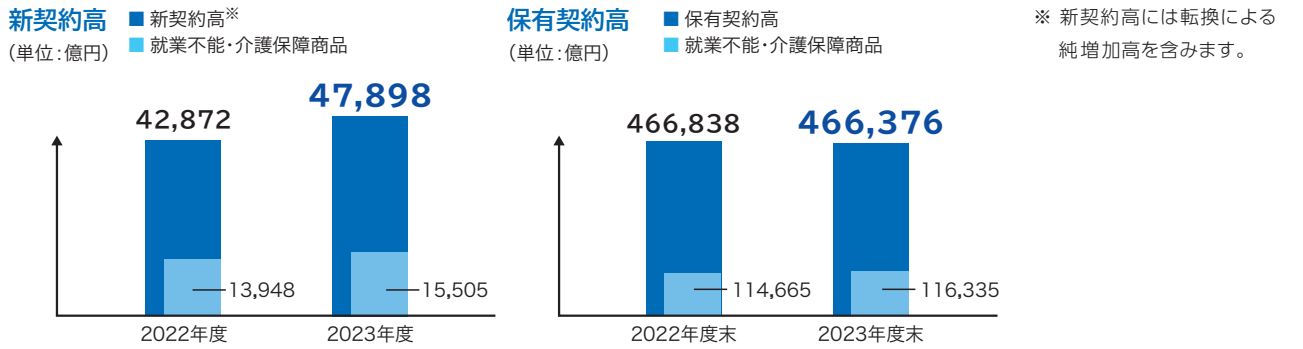
中小企業の経営は、経営者の信用力・営業力などによって成り立っているケースが多くあります。このため、経営者に万一のことがあった場合や、大きな病気・ケガなどで長期間にわたって経営にかかわることができなくなった場合、取引先や金融機関から取引条件の見直しを要請されたり、従業員への給与の支払いが困難になったりと、事業の継続が難しくなることがあります。そのような状態になっても、企業や従業員、ご家族を確実に守ることができるよう、生命保険によるリスク対策が必要です。

収益性と健全性

契約業績（個人保険・個人年金保険）

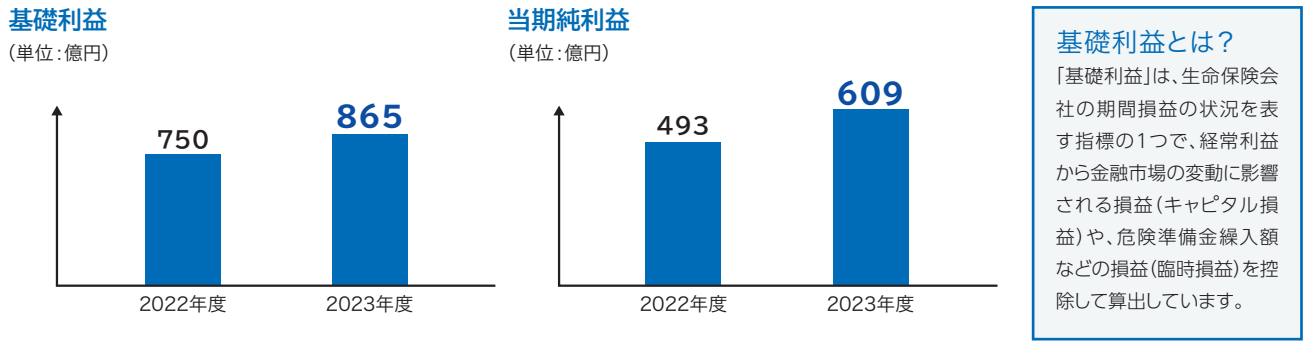
死亡保障・就業不能保障・介護保障など、お客さまの幅広い保障ニーズにお応えする丁寧なコンサルティング営業を実践したことなどにより堅調に推移し、「新契約高」は前年度から増加しました。また、「保有契約高」はお客さまである中小企業の資金需要の増加などにより、「解約失効高」が増加したものの、「新契約高」が堅調に推移したことにより、前年度並みの水準を確保しました。

（注）新契約高・保有契約高は個人保険・個人年金保険の合計金額に「Jタイプ」等の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リリーフα」等の介護保険金額および「一時金型Mタイプ」の入院一時金額を基準として計上した金額を加えたものです。



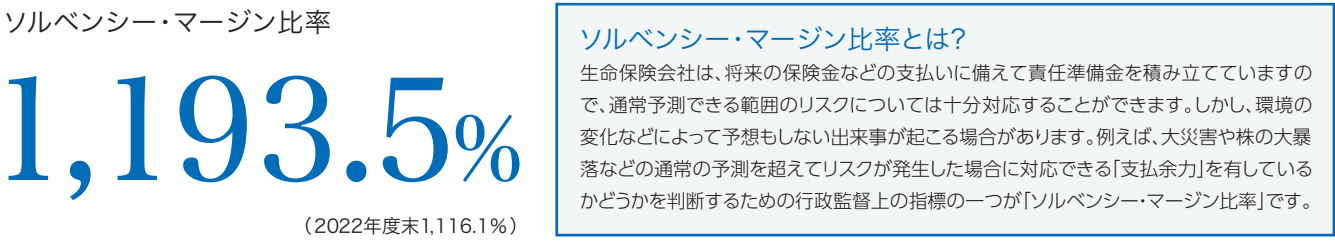
損益関係

基礎利益・当期純利益は、利息及び配当金等収入の増加や、保険金・給付金の支払減少などにより、前年度から増加しました。



ソルベンシー・マージン比率（2023年度末）

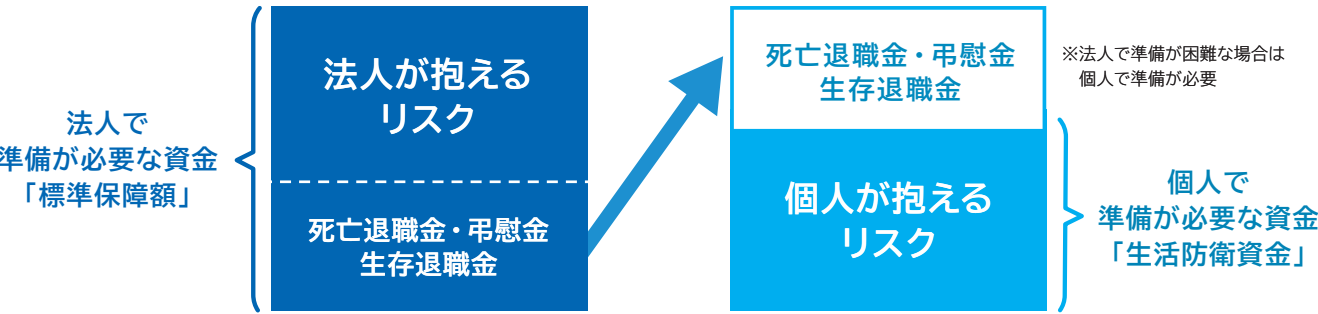
2023年度末現在のソルベンシー・マージン比率は1,193.5%となり、引き続き十分な健全性を維持しています。



課題解決への伴走 ～経営者のリスクへのそなえ～

企業経営者を取り巻くリスクと必要資金

中小企業の経営者は、法人(企業)を守る責任だけでなく、世帯主として個人(家族)を守る責任も担っています。当社では、経営者が万一の場合や働けなくなった場合の経済的損失(リスク)から企業・家族を守るために必要な資金を確保するため、法人の「標準保障額」および個人の「生活防衛資金」を算定し、法人・個人を一体とした合理的な保障(トータルな保障)を提案しています。



	法人としてのリスク		経営者個人としてのリスク
	経営者・役員	従業員	
死亡リスク	運転資金 借入金返済資金 死亡退職金・弔慰金	人材確保・育成資金 死亡退職金・弔慰金	生活資金 借入金返済資金 相続税納税
就業不能リスク	運転資金 借入金返済資金 生存退職金	人材確保・育成資金 生存退職金	生活資金 借入金返済資金 介護・入院・治療費用
生存リスク	事業承継 生存退職金	生存退職金	生活資金 介護・入院・治療費用

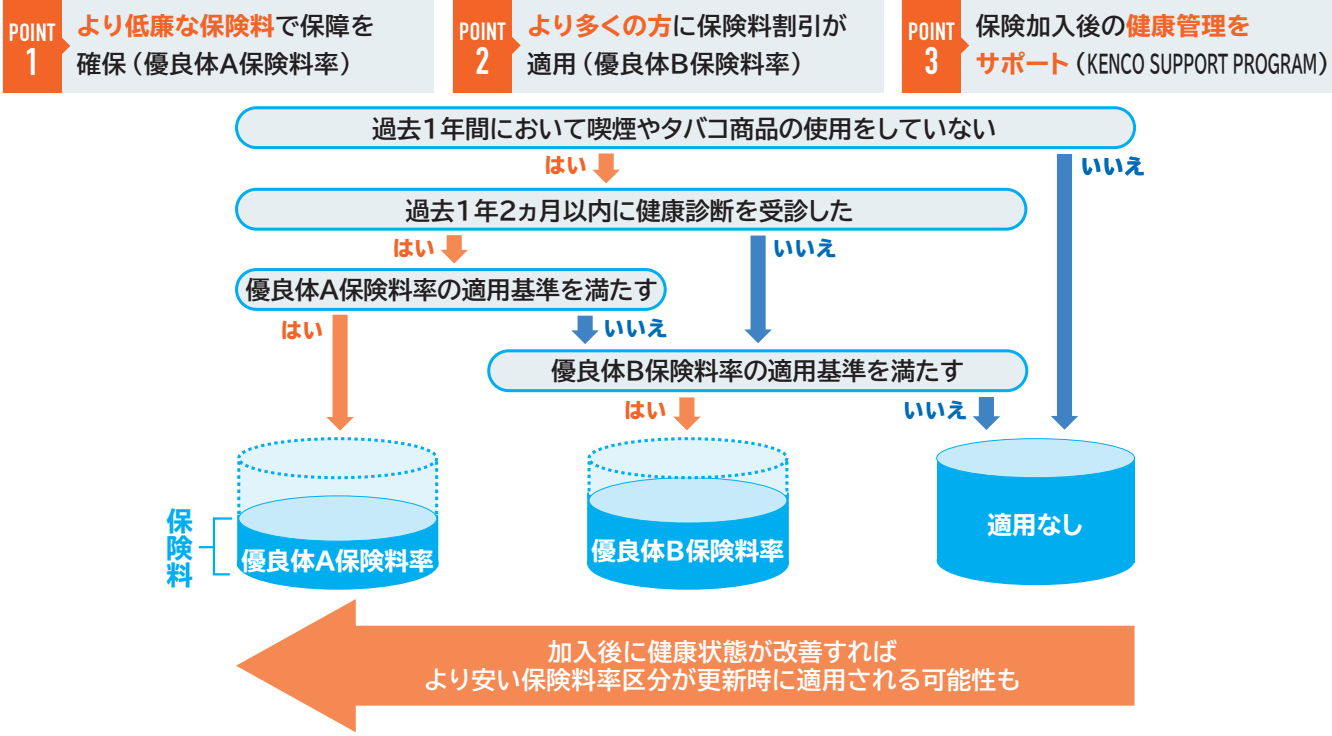
主な商品ラインアップ

	死亡にそなえる保険	重大疾病にそなえる保険	重度の身体障がい状態にそなえる保険	入院・手術にそなえる保険
	Rタイプ Lタイプα 会社みんなでKENCO+	Jタイプ Jタイプα がんステージ限定型Jタイプ	Tタイプ Tタイプα	一時金型Mタイプ
法人を守る				
個人を守る	収入減少にそなえる保険	介護費用にそなえる保険	資産承継・相続準備	老後準備・資産形成
	収入リリーフ	介護リリーフα	ライフギフトα	個人年金 終身保険

優良体割引特約(2023年12月発売)

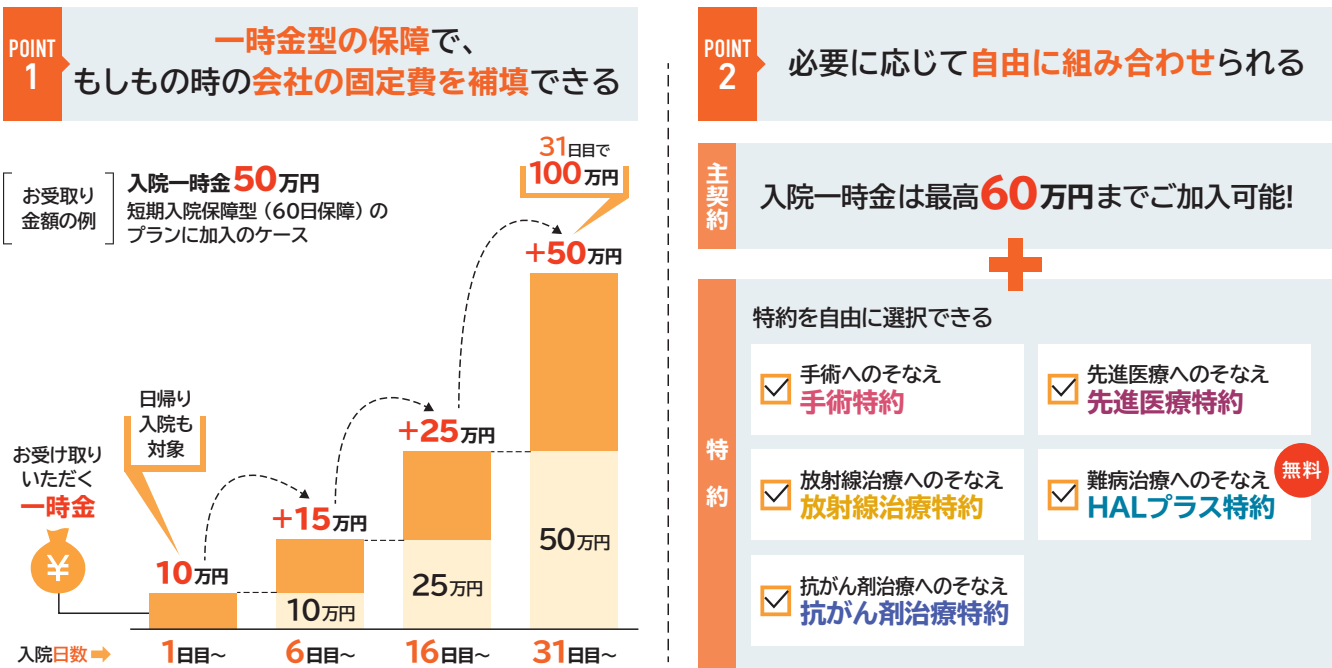
年齢に関わらず、すべての経営者に必要な保障を確保いただきやすくするため、「割引率が高い保険料率」と「割引適用対象が広い保険料率」の2つの料率区分を兼ね備えています。

※優良体割引特約は、「Rタイプ(無配当年満期定期保険(無解約払戻金型))」と「Dタイプ(無配当減定期保険)」に付加可能です。



一時金型Mタイプ(2023年6月発売)

入院を一時金で手厚く保障し、経営者が病気・ケガで不在となった際の「法人の運転資金」をカバーする保険です。特約付加により、手術・放射線治療・抗がん剤治療など、必要に応じた保障を自由に組み合わせられます。



課題解決への伴走 ～中小企業の成長・発展への貢献～

社長が声をかけあうサイト「どうだい？」

会員数6万名突破
(2024年6月時点)

イメージキャラクター
どうだくん

「どうだい？」の 4つの機能

- 「相談する」 (経営者同士が想いや悩みを共有できるコミュニティ)
- 「学ぶ」 (経営者の身近でリアルな事例をご紹介)
- 「活用する」 (経営に役立つ当社のサービスラインアップをご案内)
- 「つながる」 (自社紹介やメッセージ機能を通じた経営者同士の交流機能)

「どうだい？」を訪問することで、経営のヒントが得られたり、同じ立場の経営者からの言葉で励まされたり、経営者のそばにいつもあるサイトとして、日本中の経営者がつながることができるサービスへ成長していきます。



人材採用・育成支援サービス

中小企業の経営課題のひとつである人材に関するお悩みごとに幅広くお応えできるよう、「人材採用・育成に関する無料相談(人材よろず相談)」と4つの有料サービスを提供しています。

人材よろず相談【無料】

人材採用・育成に関する無料相談、募集・採用面接に関するアドバイスなど



人材に関する企業のお悩みに応じたサービスメニューをご案内

高校生の
新卒採用支援



中途採用の支援



動画マニュアル
作成ツールの提供



eラーニング
講座の提供



サステナビリティ経営支援プログラム

「SDGsに関心のある企業」と「社会課題の解決に貢献する技術やサービスを持つ企業」の接点を創出し、サービスの導入や企業間の協業をサポートすることで、サステナビリティ経営の実践を後押しするプログラムを提供しています。



相続・事業承継の課題解決支援

中小企業の持続的な発展に向けて、相続・事業承継の課題解決支援に取り組んでいます。

FP・相続コンサルタントによる支援

自社株・相続財産の評価額(概算)の算定から、後継者への経営権の移転や納税対策・遺産分割対策など、お客さまのご意向を踏まえた幅広いアドバイスを行っています。



自社株評価試算 財務分析・経営助言

自社株の評価額や決算書に基づく財務リスク診断を実施し、適切な対策をアドバイスします。

提携先等その他の支援

提携先との協働等により課題解決に向けた各種サービスの提供を行っています。



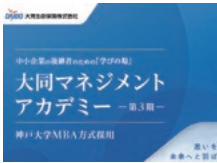
M&A支援サービス

自社だけでは難しいM&Aのご相談から相手探し・手続きまで知識・経験豊富な専門家による一貫したサポートを、優待価格でご提供します。



りそなグループとの 協働

りそなグループと相続・事業承継分野で業務提携し、お客さまの課題に応じて「大同生命の経営者保険」や「りそなグループの信託商品」など、保険・銀行分野がもつソリューションをご提供しています。



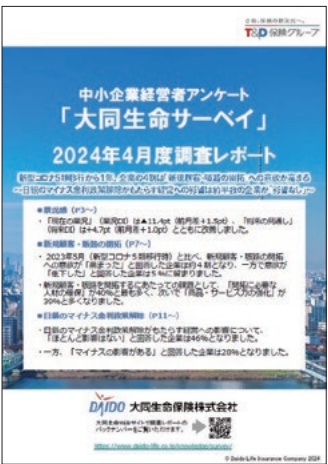
後継者育成 プログラム

後継者育成プログラム「大同マネジメントアカデミー」の開催や、「ベンチャー型事業承継」への協賛を通じて、後継者が「自ら学び行動する環境」を支援しています。

中小企業経営者アンケート「大同生命サーベイ」

「大同生命サーベイ」は、当社営業職員が経営者のみなさまから、景況感や経営課題の解決に向けたお取り組み等に関する“生の声”をお聞きする調査として、2015年10月より全国で実施しています。

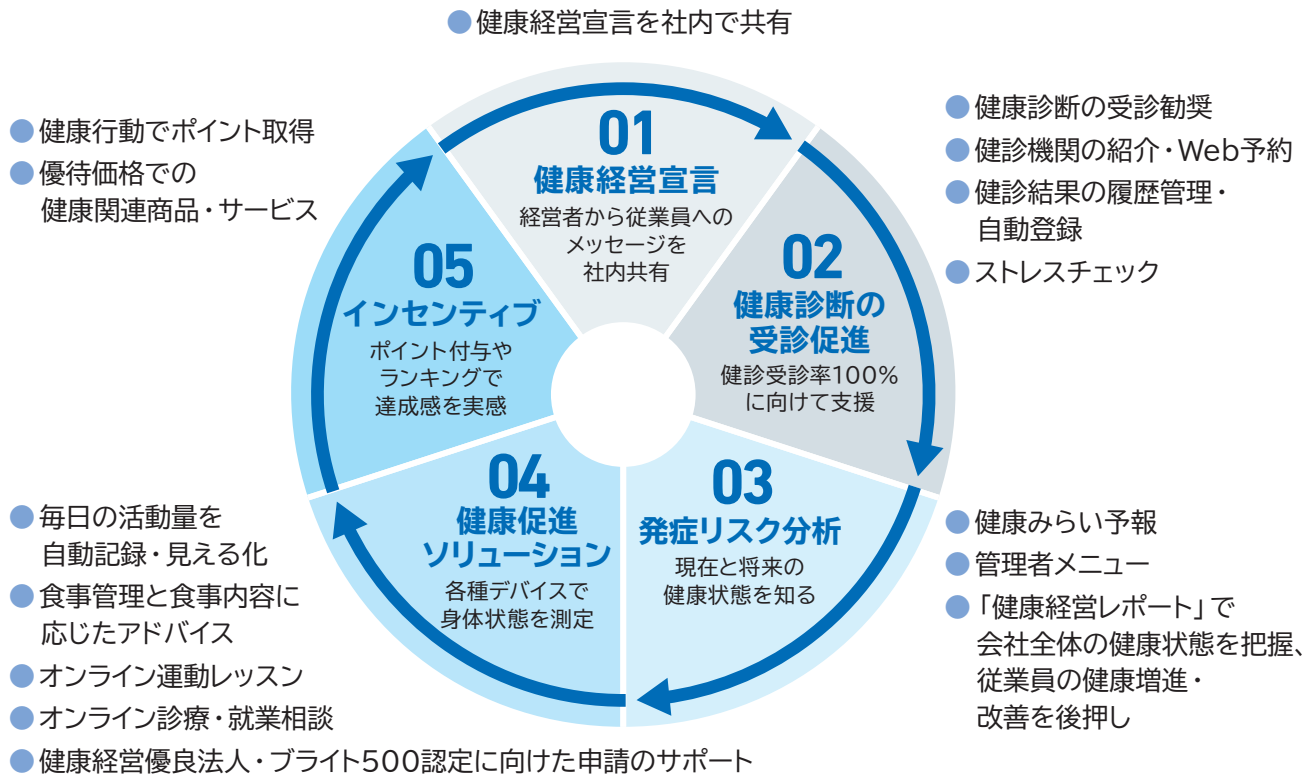
現在は回答企業数が約1万社となり、調査結果が中小企業白書(2021年、2022年)、小規模企業白書(2024年)に紹介されたほか、テレビの報道番組や全国各地の新聞で紹介されるなど、世間の認知度や評価が大きく高まっています。中小企業経営者のみなさまに、経営課題に対する“ヒント”となるよう、毎月タイムリーに情報提供しています。



課題解決への伴走 ～中小企業の成長・発展への貢献～

KENCO SUPPORT PROGRAM (KSP)

企業の「健康診断の受診促進の支援」、経営者・従業員個々の「生活習慣病等の発症リスク分析」、継続的な健康増進の取組みを促す「健康促進ソリューション・インセンティブの提供」など、健康経営®※に必要なPDCAサイクルの実践を一貫して支援するWebサービスです。



※「健康経営®」とは、企業が従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に従業員の健康管理・健康づくりを実践することです。
「健康経営」は特定非営利活動法人 健康経営研究会の登録商標です。

健康経営定期便活動

健康経営定期便サイトでは、KSPにご登録いただいた健診結果をもとに、会社の健康状態を可視化した「健康経営レポート」を年4回提供しています。

当レポートの提供を中心に、健康経営に役立つさまざまな情報を「健康経営定期便活動」として定期的にお届けしています。

健康経営定期便サイト

健康経営レポート※

年4回(5・8・11・2月)作成のうえ提供します。

健診表登録により閲覧可能です

※個人情報の第三者提供に関する同意が必要です。

健康経営情報コンテンツ

健康経営の取組事例や健康コラムなど、健康経営に役立つ情報を紹介します。

中小企業の企業経営を幅広くサポートする各種サービス

激しく変化する経営環境の中で、生命保険だけではカバーできない中小企業を取り巻くさまざまなリスクにそなえるためのサービスを提供しています。



安否確認システム 無料 災害時に従業員の安否を確実・迅速に確認できるシステムをご利用いただけます。 ※安否確認の連絡対象として登録可能な人数は50人が上限です。	T&Dクラブオフ 優待価格 ホテル、レジャー施設、育児に役立つサービスなど、20万件以上に及ぶ多彩なメニューを優待価格でご利用いただけます。	公的支援オンラインサービス 診断無料 公的補助金、公的助成金について、会社の状況に応じた活用可能性を診断します。専門家への相談も可能です。
就業規則診断オンラインサービス 診断無料 就業規則が労働基準法等に照らして問題がないかを診断します。専門家への相談も可能です。各種規程のひな形も提供しています。	中小企業向け情報セキュリティ関連サービス 紹介無料 情報処理推進機構(IPA)が提供している、中小企業向けの情報セキュリティに関するコンテンツや制度などの情報をご案内します。	標的型攻撃メール対応訓練サービス 優待価格 訓練用の疑似攻撃メールを送信し、メールの不審な点に気付いて開封を回避できるか訓練するサービスを当社専用プランでご案内します。

DAIDO KENCO AWARD

「健康経営に積極的に取り組んでいる企業をより一層応援したい」「健康経営にこれから取り組む企業の、一歩を踏み出す支えになりたい」との思いから、大同生命独自の表彰制度「DAIDO KENCO AWARD」を創設しました。
当表彰制度では、経済産業省の「健康経営優良法人認定制度」を参考に作成したアンケート回答に加え、KSP活用状況などを評価基準に盛り込んでいます。表彰該当企業への表彰状・盾の贈呈のほか、特設サイト・外部メディアなどを通じて健康経営の取組事例を広く社会に発信します。

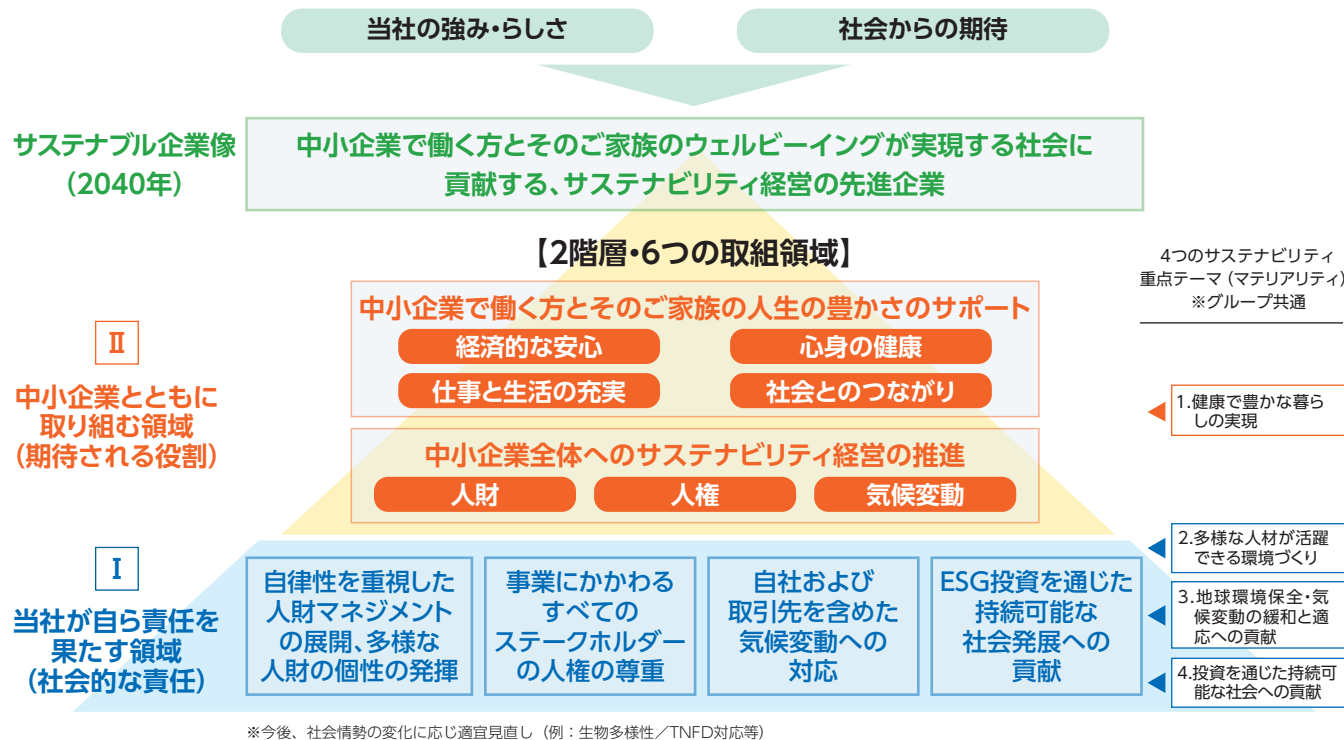
DAIDO KENCO AWARD表彰サイト



サステナブルな社会の実現に向けて

サステナビリティ推進計画

当社が自ら社会的な責任を果たしつつ、中小企業とともに社会課題の解決に取り組んでいくために、2階層・6つの取組領域を設定した「サステナビリティ推進計画」を2023年3月に策定しました。「中小企業で働く方とご家族のウェルビーイングが実現する社会」に貢献する企業を目指し、当計画に基づき取組みを進めています。



2025年に向けたアクションプラン



TOPICS 中小企業向け「サステナビリティ経営実践ガイド」の発行

当計画に基づく取組みの1つとして、中小企業を対象にサステナビリティ経営の実践ガイドを新たに制作し、提供しています。

<https://www.daido-life.co.jp/sustainability/management/practiceguide.html>



1 自律性を重視した人財マネジメントの展開、多様な人財の個性の発揮

柔軟な働き方の推進

時間と場所にとらわれず、業務の特性や、従業員個人の状況に応じて「生産性の高い働き方」を選択できるように、リモートワークやサテライトオフィス、シェアオフィスの活用を進めています。出社勤務とリモートワークを組み合わせた「ハイブリッドワーク」を標準的な働き方とすることで、出社によるリアルコミュニケーションの促進と、リモートワークによる時間の有効活用を両立しています。あわせて、コミュニケーションの活性化を目的として、フリーアドレスの導入やテレブースの設置などを進めています。

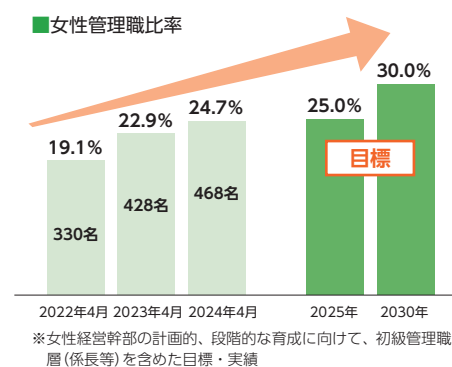


東京本社フリーアドレススペース

女性職員の活躍のための取組み

当社で働く多くの女性職員の活躍を後押しするため、ライフイベントと仕事を両立できる制度を整備するとともに、キャリア開発に対する女性職員本人と上司の意識醸成に取り組んでいます。

また、「女性管理職比率」を2025年度までに25%以上、2030年度までに30%以上に引き上げることを目指しており、女性職員の積極的な管理職登用とあわせて、キャリア形成に関する研修や、様々な職務経験の提供による「自律的なキャリア目標の実現」を支援しています。



同性パートナー制度

休暇・福利厚生制度において、同性パートナーを配偶者と同様に取り扱っています。また、LGBTQの職員のための相談窓口を設置しており、職場に関する相談や、福利厚生制度の利用などに関する照会を受け付けています。

シニア層・障がい者の活躍推進

2022年4月より定年を65歳までに延長するとともに、70歳まで就労可能な再雇用制度を導入するなど、シニア層の活躍を後押ししています。今後も能力・体力・ライフステージ等に応じて、多様な職務に従事し、年齢にかかわらず活躍を支援するための環境整備を進めていきます。

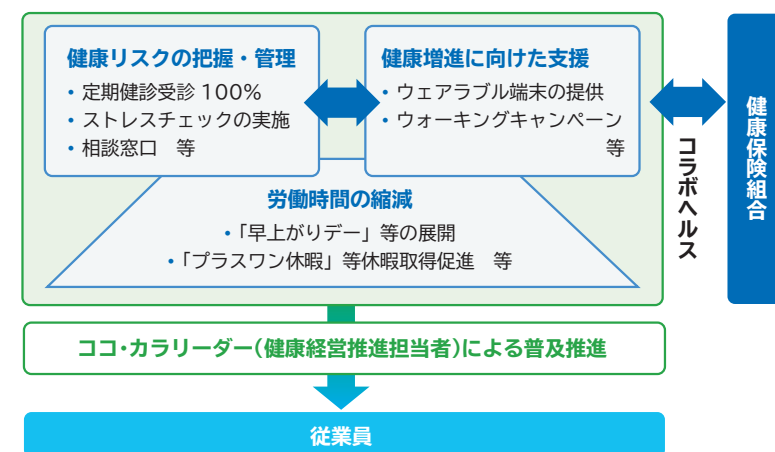
また、障がいのある職員が安全で働きやすい環境を整備しています。

2024年3月時点での障がい者雇用数は135名、雇用率は2.35%と法定雇用率2.30%を上回っています。

健康経営の実践・推進

当社では、経営トップのトップコミットメントである健康経営宣言「ココ・カラ宣言」のもと、従業員の健康増進を図るための取組みを「DAIDO-ココ・カラ」と総称し、積極的に推進しています。

この取組みが評価され、「健康経営優良法人認定制度」に基づく「健康経営優良法人（大規模法人部門（ホワイト500）」に8年連続（2017年～2024年）で認定されました。



サステナブルな社会の実現に向けて

2 事業にかかわるすべてのステークホルダーの人権の尊重

人権を尊重した事業活動の推進

当社は、グループ共通の「T&D保険グループCSR憲章」において「人権の尊重」を掲げ、すべての役職員ならびにすべてのステークホルダーの人権を尊重した事業活動を推進しています。

具体的な行動として、国連人権理事会によるすべての国家および企業を対象とした行動基準「ビジネスと人権に関する指導原則」に則り、人権尊重の考え方について表明する「T&D保険グループ人権方針」を制定し、T&Dホールディングスおよびグループ各社とともに人権デューデリジェンス等を実施しております。

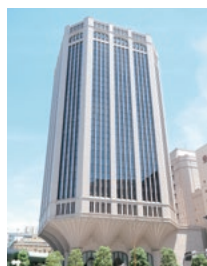
3 自社および取引先を含めた気候変動への対応

環境負荷軽減の取組みと再生可能エネルギーの導入

環境問題への取組姿勢を示したグループ共通の「T&D保険グループ環境方針」を制定し、CO₂排出量・電力使用量・事務用紙使用量の削減、業務上使用するファイル等のプラスチック使用削減を進めるなど、幅広い角度から環境負荷の軽減に努めています。

当社におけるCO₂排出量は、その9割以上が使用電力に由来しています。そのため、CO₂排出量の削減率とともに使用電力の再生可能エネルギー比率をKPIとして設定し、再生可能エネルギーの導入推進によりCO₂排出量の削減に努めています。

2023年度以降、東京日本橋タワー、大阪本社など6物件で同エネルギーの導入を開始しました。今後も環境保全に取り組む企業として、再生可能エネルギーの導入を積極的に進めてまいります。



大阪本社

4 ESG投資を通じた持続可能な社会発展への貢献

ESG投資に対する基本的な考え方

投融資活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献することが、社会性・公共性の高い生命保険事業を営む当社の最も基本的な責務のひとつと考えています。

「サステナビリティ推進計画」や「責任投資原則(PRI)」の考え方を踏まえ、環境・社会・企業統治(Environment, Social and Governance)の課題を運用プロセスに反映する「ESG投資」に積極的に取り組んでおります。

また、グループ経営理念に基づきESG投資姿勢を表明する「T&D保険グループESG投資方針」に沿ったESG投資の取組みを推進することにより、持続可能な社会の実現と長期安定的な収益の確保の両立を目指してまいります。

脱炭素に向けた取組み

社会全体のCO₂排出量削減に貢献するため、自社による排出量に加え、投融資先の排出量削減もKPI(2030年度までに2020年度比で50%削減)[※]として設定しています。

2024年3月末の投融資先の排出量は2020年度比45.5%の削減率となりました。引き続き、気候変動テーマ型投融資や、排出量が多い投融資先企業とのエンゲージメント等により、KPIの着実な達成を目指します。

※対象資産:国内上場企業の株式・社債・融資

CSR活動

全国障害者スポーツ大会への特別協賛

全国障害者スポーツ大会は、「障がいのある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がいのある人の社会参加の推進に寄与すること」を目的として開催される国内最大の障がい者スポーツの祭典です。

当社は特別協賛を30年以上にわたり継続し、これまでのべ約12,000人の役職員等がボランティアとして大会に参加してまいりました。

2024年は、10月26日～28日に、佐賀県で「第23回全国障害者スポーツ大会(SAGA2024全障スポ)」が開催予定です。



燃ゆる感動かごしま大会の開会式(2023年)

役職員による社会貢献活動

2017年度より、全社をあげて「みんなでサステナ運動」を実施しています。2023年度は「地域社会への貢献」をテーマに、リサイクルの推進や清掃活動など、支社・部門単位でさまざまな活動に取り組みました。

また、役職員が自主的に参画する「大同生命社会貢献の会」では、募集・寄付、ボランティア活動への参加・支援などのさまざまな活動に取り組んでいます。



みんなでサステナ運動

中小企業の「学びの場」提供

創業100周年を迎えた2002年より、中小企業経営者のみなさまを対象として、経営・ビジネスに関連する知識・スキルを習得いただくための「寄付による大学等でのオープン講座」を全国各地で開催しました。

創業120周年を迎えた2022年からは、同講座を「中小企業で働くすべての方」「中小企業での活躍を目指す方」を対象とした「学びの場」としてリニューアル。受講対象を「中小企業の後継者・従業員」「起業を志す方」などにも拡大しました。これまでの開催実績は累計155回、受講者数はのべ約18,000人にのぼります。

2023年度の主な提供メニュー

受講対象		提供内容
中小企業で働くすべての方	経営者	・がん治療・両立支援セミナー ^{※1} ・中小企業支援フォーラム ^{※2} ・中小企業の脱炭素経営を支援するセミナー ^{※3} ・人を大切に作る経営学会での講座
	後継者	・神戸大学との協働による「大同マネジメントアカデミー」
	従業員	・中小機構との協働による中小企業大学校での従業員育成講座
中小企業での活躍を目指す方	社会人	・日本女子大学生涯学生センターでの講座 ・女性のためのリカレント教育推進協議会での講座
	学生	・明治大学での「起業を志す学生」連続講座 ・大阪大学での学生プロジェクト支援

※1:東大病院・大阪労働局・大阪産業保健総合支援センターとの共催

※3:環境省近畿地方環境事務所・当社主催、大阪府・中小機構近畿本部共催

※2:日本経済新聞社イベント企画ユニット主催(当社協賛)

インフォメーション

テレビCMの放映

当社は、企業イメージCMとして、「社長への手紙」シリーズ、「わたしの大同宣言！」シリーズに加え、2024年5月より、当社イメージキャラクターを務める波瑠さんが出演する「経営者オフサイトミーティング」シリーズを放映開始しました。

「経営者オフサイトミーティング」シリーズ

温かな日差しが差し込む空間で開催されている「経営者オフサイトミーティング」を、波瑠さんがコーディネート。様々な業種の経営者の間で飛び交ういろいろな悩み。経営者たちが本音を打ち明ける中で、お互いの悩みに共感しあうとともに、当社が経営者の悩みに寄り添い、それぞれの課題解決をご支援したいという想いや、お届けしている「経営支援サービス」、「経営者保障」の重要性をご紹介します。



CM特設WEBサイト公開中 テレビCMや波瑠さんのインタビュー映像を掲載！
<https://www.daido-life.co.jp/knowledge/support/index.html>



加島屋研究プロジェクト

2022年7月、創業120周年事業のひとつとして、大阪本社メモリアルホールの特展展示をリニューアルし、「加島屋本宅再現模型」を公開しました。これは、当社の礎を築いた豪商「加島屋」について、大阪くらしの今昔館および大阪大学・神戸大学等と協働で進めてきた研究プロジェクトの成果として公開したものです。当社では2025年大阪・関西万博に向けて、「世界最先端のサステナビリティ都市」であった「商都・大坂」の魅力を発信しています。



メモリアルホールの特別展示



『大同生命120年史』の刊行

2023年12月、当社の「挑戦と変革の歴史」を綴った社史『大同生命120年史』を刊行しました。120年の歴史の中でいただいた多くのご縁に感謝し、未来に向かって今後も歩みを進める想いを込めて、ホームページでWEB版を公開しています。

WEB版は、現在のビジネスモデルを築いたストーリーをお届けする「変革編」、約400年前に遡った創業以前から現在にいたるまでの歩みをご紹介します「通史編」、そしてWEBオリジナルコンテンツとして社史の内容をクイズ形式で楽しめる「大同検定」がお楽しみいただけます。



「大同生命SV.LEAGUE」のタイトルパートナー就任

2024年4月、当社は新たに創設される国内バレーボールリーグ「SV.LEAGUE」のタイトルパートナーに就任しました。一般社団法人ジャパンバレーボールリーグでは、今般の新リーグ構想において、「地域共生・社会連携の強化・推進」を目標としています。また新リーグのミッションにある「強く、広く、社会とつなぐ」は、当社のミッションである「想う心とつながる力で中小企業とともに未来を創る」に通じるものがあります。今後、パートナーとして様々な取組みを協同して行うことで、さらなる社会的課題の解決支援を目指します。



タイトルパートナー就任調印式

劇団四季への協賛

当社では、2015年開演より劇団四季ディズニーミュージカル『アラジン』に特別協賛を行っています。『アラジン』の自由を求め、新しい世界に踏み出していく登場人物たちの姿を通じて、大切な会社を未来につなぐ中小企業の想いに共感を示してきました。

さらに、2024年8月より大阪四季劇場で上演される『ウィキッド』への協賛を開始します。

また、地域・社会への貢献を目的として、2018年度より劇団四季と一般財団法人舞台芸術センターが主催する「こころの劇場」に特別協賛をしています。



こころの劇場

T&Dホールディングス設立20周年

T&Dホールディングスは、2024年4月1日に設立20周年を迎えました。

T&D保険グループでは、経営ビジョンとして、「保険を通じて、“ひとり”から、世の中のしあわせをつくる。ていねいに向き合い、大胆に変えるグループへ。」を掲げています。この実現に向けて、年間を通じ、文化・芸術の保全や学生支援等の「設立20周年記念事業」を展開しています。



T&D保険グループのグループストラクチャー

